

職員による自己評価

A 環境面

・児童の体も成長し、室内・送迎車ともに狭く感じている。

・実務上で送迎や見守りに人手不足を感じる。

B 児童への支援内容

・プログラムは固定せず平日・休日・長期休みと分け、企画して支援している。

・支援開始前に打ち合わせをし、その日の注意点・時間・役割について確認している。

C 関係機関との連携

・学校受け取り時に先生と情報共有をしている

・特記があれば話し合う程度

D 保護者への説明責任・信頼関係

・連絡帳のやり取りや送迎時の伝言などできる限り伝えている

・月の会報紙を出している

・個人情報同意を得た上で十分留意している

E 非常対応

・虐待防止研修実施

・ヒヤリハットは書き込む機会が少なく、共有も出来ていない。

保護者による評価

A 環境面・体制整備

・活動スペースが狭いように感じる

・事業所内がどうなっているかわからない

・利用が増えることにに対し職員数が適しているのか分からない。

・職員配置、専門性など含めて年に一度位提示して頂けるものがあるといい。

B 児童への支援内容

・学習以外での個別課題があるとよい

・日曜や祝日の受け入れありがたい

C 事業所からの情報発信

・今まではなかった伝達ミスが少し増えた。

・受給者証更新の際など書面で確認できるものが無く事業所の状況など分からない。

D 満足度

・子供が楽しんでいなければ続けない。

・家ではなかなか経験させられない事を体験させてもらいとても助かっています。

・送迎等柔軟に対応して頂き本当に助かります。

・家庭の事情にもう少し考慮してほしい。

事業所内での分析

【共通点】

・一昨年同様、児童の成長もあり活動スペース・車内など狭さを感じている

・一昨年同様、職員の数が足りていないと感じている

・日曜日や祝日の預かりを重宝してもらっている。

【相違点】

・伝達・引継ぎのミスを減らすため、毎日の朝礼・職員会議を第2週金曜に設定し全職員が参加し話し合えるよう実施しておりますが、保護者様からは少しミスが増えたとの指摘。

・集団活動だけでなく個別支援プログラムを希望するこえもある

・人員不足などで希望に添えない場合もある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・土曜日や長期休みを利用し、季節に合った行事やスポット等子供目線で発案・計画している
- ・年末年始以外すべて営業
- ・月の会報、連絡帳、送迎時伝達

事業所の改善点

- ・職員会議や勉強会の頻度
- ・職員全員の資質や専門的知識を高める方法
- ・職員の虐待に対する知識や対応
- ・職員間の情報伝達や共有方法
- ・個別プログラムについて

事業所の改善への取り組み

- ・シフト作成時に会議予定を設定しより多くの職員に参加してもらう
- ・会議には日頃の情報共有や虐待防止を軸とした研修・勉強会を実施していく
- ・朝礼を継続して行い、帰り送迎終了時にその日の支援について振り返る時間を設ける
- ・感染症対策徹底を継続し利用者や職員の体調を細かく管理する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も保護者様始め、職員一同様アンケートご協力ありがとうございました。

今回アンケートで頂いたご意見を全職員と共有し、安心して楽しんで過ごせる場所の環境づくり、信頼・満足度を向上出来るよう努めていきたいと思えます。

事業所名 岡喜児童デイサービス弥生台

担当者 石川 友香